



2021年11月10日

各位

会社名 阪和興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 古川 弘成
(コード：8078 東証第一部)
問合せ先 取締役 専務執行役員 中川 洋一
(TEL. 03-3544-2000)

通期業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年8月10日に公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想を修正いたしました。また、2021年11月10日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当を決議するとともに、2022年3月期（第75期）の1株当たり配当予想を修正することとしましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,980,000	百万円 42,000	百万円 38,000	百万円 26,200	円 銭 644.73
今回修正予想（B）	2,000,000	52,000	50,000	34,500	848.97
増減額（B－A）	20,000	10,000	12,000	8,300	—
増減率（％）	1.0	23.8	31.6	31.7	—
（ご参考）前期連結実績※ （2021年3月期）	1,745,501	29,232	28,821	19,617	482.74

※当社は2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。前期連結実績につきましては、当該会計基準等適用前の数値となります。

(2) 業績予想修正の理由

新型コロナウイルス流行の長期化を背景に景気の先行きは依然として見通しづらい状況にありますが、前回公表時と比較して、国内外の経済活動は一段と持ち直し商品相場の上昇基調が続いています。当社におきましては、各事業分野における需要の回復状況や取引先のニーズを適切に把握することに努めているほか、これまで種まきしてきた戦略的投資の収益化にも着実に取り組んでいます。

このような最近の事業環境や取り組み状況等を踏まえ、当第2四半期累計期間の業績及び現時点において入手可能な予測等を勘案した結果、当初想定以上に利幅が拡大し、各利益で前回公表値を上回る見込みとなったことから、2022年3月期の連結業績予想につきまして上記のとおり修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正について

（1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月12日公表)	前期実績 (2021年3月期中間)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	50円00銭	30円00銭	30円00銭
配当金の総額	2,031百万円	—	1,219百万円
効力発生日	2021年12月2日	—	2020年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	30円00銭	30円00銭	60円00銭
今回発表予想		50円00銭	100円00銭
当期実績	50円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	30円00銭	30円00銭	60円00銭

（3）剰余金の配当（中間配当）及び配当予想修正の理由

当社は、中期経営計画（2020年度－2022年度）において、2022年度末に株主資本2,000億円以上の積み上げを目標として掲げ、長期的な成長に向けた土台作りと財務基盤の強化に努めております。利益還元につきましては、引続き株主への継続的な配当を経営の最重要政策の一つであると認識しており、更なる成長に向けた株主資本の蓄積と基礎的収益力の向上に合わせて配当額を決定していく所存です。

2022年3月期の配当予想につきましては、上記の通期業績予想の内容や中期経営計画の進捗状況等を踏まえ、1株当たり年間配当を100円とさせていただきます。また、2022年3月期の中間配当につきましては、1株当たり50円といたします。

（注）上記の業績予想及び配当予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上